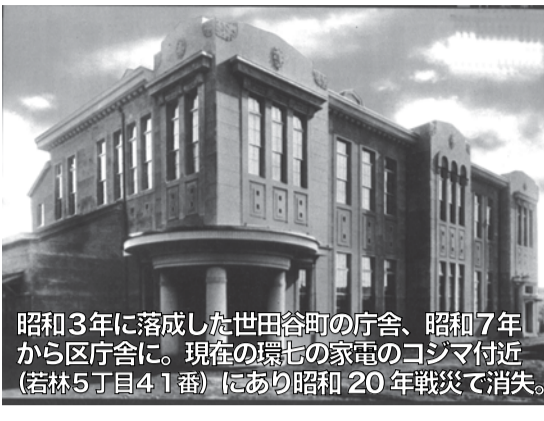


庁舎問題その後 築48年目の庁舎を 考える 前川國男の意図

●現在の第一庁舎が竣工したのが1960年10月31日のこと。築48年目に突入する●実は決算委員会に先立ち、会派でこの第一庁舎を設計した前川設計事務所を訪れ、現在の代表である橋本功氏に話を伺った●橋本氏は前川國男建築を守る立場にあるが、忌憚のない話をしてくれた●現在世田谷区と前川設計事務所とは



昭和3年に落成した世田谷町の庁舎、昭和7年から区庁舎に。現在の環七の家電のコジマ付近(若林5丁目41番)にあり昭和20年戦災で消失。

関係がないということ、それは前川事務所が前川國男の遺志で入札を拒否する契約方法をとっているから●従って、前川國男設計の庁舎であるが、改築、改修の意見は基本的に控えたい、とのこと。ただし一般論として鉄筋コンクリートの建物は築50年が限界である(物理的寿命、経済性の寿命、機能性の寿命の3つから)●その場合、仮に改修としても第一庁舎であれば大がかりな免震工法で地盤そのものから建物を守るしか方法はないだろうとのこと●一般的に庁舎問題は考えなくてはいけない時期(築48年なら)であろうという認識は述べていた●特に印象深かったのはできれば建物を残すことに越したことはないのだが、「前川國男の設計の意図」は是非残して欲しいということだった。それは何かと言うと、「中庭」だそうである●中庭を自由に通過できる庁舎、庁舎から中庭に自然と通じる。中庭はコミュニティの象徴で人が集う所に庁舎があると云う意味らしい●確かにそうだ。四谷駅からすぐの、庁舎と同じ感触の事務所から会派一同納得しながら辞去した。(前川事務所の方、橋本代表に取材に応じていただき感謝)

早くても8年後の話 2016年以降 決算委員会で答弁

●10月議会で区長は「改築の方向で検討」のもと審議会を作りそこで専門的な検討をさせることを表明●もちろん審議会が「改築は時期尚早」という結論を出すことも考えられるが、仮に改修であっても100億円単位の支出となる●改築、改修どちらにしても相当の財政的負担は避けられない●決算委員会での質疑では仮に改築となっても最短でも8年後ということである●『せたがや政策会議』としては、区が現在取得を目指している「都立梅ヶ丘病院跡地」(2万5千㎡)に移転する案(小田急線梅ヶ丘駅5分)、三茶のキャロットタワー移転案(キャロットタワーの42%は世田谷区の所有)等々、庁舎問題の固定観念を破る提案をした●それぞれ交通の至便性、現在ある施設を転用で経費節減といった●さらに上述の前川事務所での考えをヒントに、現庁舎の敷地を東西に分断している区道を廃止できないの

か道路部に迫った●その結果、可能という見解を得た。つまり前川國男の「中庭構想」を残す意味でも敷地の一体的な利用が必要で、この区道を廃止する提案は議会では初めてのことだった●いづれにしても最後は財政的な負担が最大の懸案となることは間違いない。走り出したら止まらない、そんなことはあってはならない。とにかく色々な角度から考えねばならない。



敷地の↑真ん中に区道が

区長付属の審議会メンバー決まる

●本庁舎審議会の(公募以外の)メンバーが決定。来年8月に向けて10回の審議会を開き庁舎建設の方向性を区長に答申する。

区分	分野	氏名	職(所属)
学識経験者	ユニバーサルデザイン	在塚 礼子	前埼玉大学教育学部教授
学識経験者	建築	照井 進一	(社)公共建築協会会長
学識経験者	防災	中林 一樹	首都大学東京都市環境学部教授
学識経験者	環境	牧 恒雄	東京農業大学地域環境科学部教授
学識経験者	地域振興	松島 茂	東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科教授
関係行政機関	警察	井手 好郎	世田谷警察署長
関係行政機関	消防	高橋 貴司	世田谷消防署長
地域団体	町会・自治会	宇田川 國一	世田谷地域町会連合会会長
地域団体	町会・自治会	後藤 正三	北沢地域町会連合会会長
地域団体	町会・自治会	斎藤 重男	玉川地域町会連合会会長
地域団体	町会・自治会	額賀 一哲	砧地域町会自治会連合会会長
地域団体	町会・自治会	倉本 俊幸	烏山地域町会自治会連合会会長
地域団体	産業団体	大場 信秀	東京商工会議所世田谷支部会長
地域団体	高齢者団体	河原 春雄	世田谷区高齢者クラブ連合会会長
地域団体	障がい者団体	杉田 春義	世田谷区障がい者団体連絡協議会会長
公募区民			
公募区民			
公募区民			
公募区民			

(10月17日現在、公募の5名は後日決定)

●今年に入って関係者の中で話題になっている「文書」がある。「或る都議」の支援者がバラした選挙やおカネにまつわるスキャンダルで、関係者に郵送等で配りまくっているという●支援者とは建設会社の経営者で高齢をおしてこれまでのあれこれを告白している●ゼネコンに選挙事務所を提供させたり、政治献金等のピンハネ、都庁役人を使つての業者いじめ、区議の奥さんへの罵倒等●まさにカネ↑

まみれで片時もカネの算段から頭が離れない「或る都議」の姿が生々しく描写されている●もちろん支援者も「或る都議」も実名で書かれている●要するに内輪もめの産物なのだが、事実ならトンでもない「カネ亡者」が都議として都政や予算を食い物にしていることになる●有権者にとってその活動がわかりにくいのが都議の存在。しかしその権限とは区議は比べものにならないといわれている。



どろどろの都政?



●そんな都議がいるとしたら新銀行東京は「猫にカツぶし」である。本来の設置目的が歪められ、食い物にされているという構図はわかりやすい●すでにマスコミ報道も始まっている。おカネに窮しているから融資を受けるのであれば、「吸血鬼」である●今後「新銀行東京問題」に取り組まない都議は不思議と言わざるをえない。都議は予算チェックが仕事である。※あやしい都議の情報お待ちしています。おおば区議または後藤都議までお寄せ下さい。

都議11人に献金
05/07年「5人は口利き」
都政治資金報告
昨年収入増

朝日新聞 9月17日

あとがき

●まだまだお伝えしたいことが山ほどありますが限られた紙面ではこれが限界です。字が細かく時代に逆行しているかも知れませんがどうかご容赦のほどを●リサイクルの問題は複雑さに加えて専門コトバが登場し本当にわかりづらいです。しかも今回は半分くらいが製鉄所の話になってしまいました●要は10月からの世田谷区のリサイクルは法的にも技術的な面からも他区に比べて負けていないという結論です●「燃やすな」と言っただけで全部集めても今の技術では結局ばく大な経費をかけて「燃やす」ことになってしまうのです●特に現在の廃プラは構造が多層化するなど普通の生活者にとって分別はかなり困難です●結果、世田谷全体で廃プラを収集した場合、ムラのある分別になり、一部の人だけがどれだけ精密な分別を行っても全体とすれば質の悪い分別になってしまいます●とは言っても無闇に捨てることに、抵抗があるのも事実●そこで分別が苦手な人は区の変更通り廃プラを燃やすごみにして、これも発電の資源になるわけで、立派なサーマ



ルリサイクル●さらにそれ以外にも区は分別が常にできる人向けの、品目を絞って、例えばシャンプー容器とか決めて、精度の高い分別の拠点回収をやるべきだ、というのが『せたがや政策会議』の主張であり提案です●庁舎問題は最後は財源問題。それにはどう作るか、どこにつくるか、具体的なものが見えないと選択および決断はできません●ただし今秋に表面化した金融不況はいろいろな意味で政策の再検討を迫られることは明らかです●また総選挙の影響もあるでしょう。そう言えば今回の決算議会で民主党会派の影は薄かったなあ・・・●なお前号で述べた月刊化についてはコスト的な問題でちょっと手がつけられず平謝りです●それでも工夫してなるべく発行できるようにします●毎日世田谷のどこかで頑張っておりますので見掛けたら声かけて下さい!
【世田谷区議 おおば正明】

